

わくわく



もぐもぐ

木津川市立相楽台小学校
食育だより 1年生
平成28年2月5日

1年生は、国語科の「ものの名まえ」の学習に、食育の観点を取り入れながら学習しました。「まとめていいかた」（上位語）と「1つ1つのものの名まえ」（下位語）を学習した後、班で食べ物のお店やさんを開きました。

お店の看板には、品物をお勧めする言葉を考えて書きました。例えば、「やさい」というまとめた名前と、「ねぎ」「きゅうり」「大根」「人参」「白菜」などの1つ1つの名前があると学習しました。「給食の煮物に大根が入っていたね。」「冬はおでんの大根やじゃがいもを食べると体が温まるね。」と、子どもたちは食べ物に興味・関心を持って話をしながら、お店の看板にそれぞれの食べ物の味（みずみずしいきゅうり、など）を考えて書くことができました。

〈この授業における食育の視点〉

いろいろな食べ物の名前を知り、それぞれの食べ物の味や食感などについて考え、食べ物に興味・関心を持つ。
【食品を選択する能力】

「わがし」がまとめた名前で、「きなこもち」、「みたらしだんご」、「さくらもち」が1つ1つの名前だね。



さがなかだいパン「温かくて、おいしい、カレーパンがおすすめです。」



「くだものやです。あまずっぱいみかんは、いかがですか。」



牛乳キャップをお金の代わりに使いました。
「メロンパンは、2キャップです。」



「おすしは売り切れです。毎度、ありがとうございました。」



お店で売りたい品物と値段を考え、「魚がまとめた名まえだね。」「マグロ、カツオ、タイ、ブリが1つ1つの名前だね。」と話しながら、お店の準備をしました。いろんな食べ物のお店やさんを開いて、子ども達は、お互いに食べ物の味や、おすすめの食材のメニューなどを伝え合い、食べ物に対する、興味・関心を高めることにつながりました。